

愛知民報

週刊

発行所 愛知民報社

〒460-0007 名古屋市中区新栄三丁目12番25号

愛知あかつき会館内

☎(052) 251-2925 F A X (052) 261-6063

定価 月 400円 郵送料168円 1部 100円

毎週日曜日発行 (第5日曜日は休刊)

1966年7月31日第三種郵便物認可

2021年
9月26日
第2555号

「市民と野党の共闘」 をめぐる愛知の動き



「野党はまとまれ」と呼びかける街頭宣伝。2015年11月14日、名古屋駅前

安保法制 = 戦争法反対の空前のたたかい

2015年4—8月
安保法制や沖縄辺野古新基地建設反対などを掲げ立場を超え共同する「安倍内閣の暴走を止めよう共同行動実行委員会」が第1回の集会・デモ。その後、自治体・行政区ごとの緊急集会やデモが繰り返される。

「国民連合政府」の提唱と野党共闘に向けた進展

9月—12月
安保法制が強行成立。共産党の志位和夫委員長が「戦争法廃止の国民連合政府」提案を発表。同党愛知県委員会は400の団体・個人に提案を届け懇談。「野党はまとまれ」と訴える街頭宣伝やデモが広がる。

国政選挙での初の共闘、行き詰まる安倍政権

2016年6月
4野党が「市民連合」の政策協定書に調印。
7月
参院選の32の1人区中11選挙区で野党統一候補が勝利。共産党は改選前11議席から14議席に前進。愛知選挙区(定数4)では共産党すま初美氏が3万2489票獲得も惜敗。市民派・無党派議員が応援。

「共闘」破壊の逆流乗り越え

2017年9月
安倍晋三首相が会見し、臨時国会での「冒頭解散」を正式表明。小池百合子東京都知事が「希望の党」を結党。民進党が希望の党に合流し事実上の解党。
10月
立憲民主党結党。衆院選で共産党は小選挙区の立候補予定者を取り下げ共闘勢力を再構築。共産党が立てなかった83選挙区のうち32選挙区で共闘勢力が勝利。愛知の小選挙区では3区、5区で勝利。1区で比例復活。

積み重ねの中で共闘が豊かに成長・発展

2019年7月
参院選の32の1人区中10選挙区で野党統一候補が勝利。改憲勢力が3分の2議席を割り、自民党が参院で単独過半数割れ。
2021年4月—6月
長野、北海道、広島の前補選・再選挙で市民と野党の統一候補が勝利。共産・志位委員長と立民・枝野代表が会談。総選挙に向けた協力のための協議を開始することで一致。
9月
立憲・共産・社民・わいわ4党が「市民連合」の共通政策を合意。



日本共産党への支持を呼びかける、もとむら伸子衆院議員(東海比例候補)と「日本共産党を応援する愛知県弁護士会の会」の人たち。18日、名古屋市中区

安保法制 強行6年 「政権交代を」



安保法制廃止、政権交代を訴えて行進する「憲法をくらしに生かす改憲NO! あいち総がかり行動」の人たち。19日、名古屋市中区

あいち総がかり行動

名古屋でデモ

2015年の安保法制11年、名古屋市中区19日、名古屋市中区で同法制廃止、憲法擁護を求める集会が行われ約300人が参加しました。主催は、「憲法をくらしと政治にいかす 改憲NO! あいち総がかり行動」。同会は、2020年11月、「安倍内閣の暴走を止めよう共同行動実行委員会」と「安倍改憲NO! あいち市民アクション」が合流し発展・強化した。長峯信彦共同代表(愛知大学教授)は、「いづれかの議院の総議員の4分の1以上の要求があれば、内閣はその召集を決定しなければならぬ」と憲法53条に書いてあるのに菅内閣は臨時国会を開こうとしない。許さない」と批判しました。安保法制違憲訴訟の会弁護団事務局長の松本篤周弁護士は、「名古屋地裁では提訴後3年間で、14回口頭弁論をおこない、24本の準備書を提出した。国は内容の認否すらしない」と報告しました。田巻紘子弁護士は、「市民の声をきく政治家を国会に送ろう」とよびかけました。

野党共通政策

政治の方向性共有

市民連合・中野氏講演

共同の力で国政革新の事業をすすめる革新・愛知の会は18日、オンライン学習会を開きました。上智大学教授で安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合の中野晃一氏が「私の一票が政治を変える」と題して在京で講演しました。中野氏は、自民党総裁選のどの候補も安倍・日本会議系の影響を受け、対米追随路線も変わらないと批判。自民党が政権に復帰した12年衆院選以降も全有権者に対する自民党の絶対得票率は20%を維持し、野党共闘の取り組みを交流しました。中野氏は最後に、小選挙区の統一候補の勝利とともに、比例区でもそれぞれの立憲野党を「しっかりと勝ち上がらせる」ことを強調しました。学習会では、県内の野党共闘の取り組みを交流しました。

「比例は共産党」

「弁護士の会」ともとむら氏

総選挙が目前に迫る中、日本共産党を応援する愛知県弁護士会の会は19日、もとむら伸子衆院議員・東海比例候補とともに街頭から「比例は共産党」と支持を訴えました。樽井直樹、長谷川一裕、水谷陽子、森弘典、岡村晴美、松本篤周の各弁護士が、安保法制、核禁条約、貧困、ジェンダーなどリアルな現実に触れつつ共産党への期待を述べました。もとむら議員は、総選挙を勝ち抜く決意を述べました。